

大阪府入札監視等委員会 入札監視第2部会 平成30年度第3回定例会議 議事概要

- 1 開催日時 平成31年3月15日（金）午後1時30分から午後3時50分
- 2 場所 OMMビル地下1階 ギャラリー
- 3 出席委員 5名
- 4 審議対象期間 平成30年8月1日から平成30年11月30日まで
- 5 会議の概要 審議対象期間中の、入札方式別の発注案件の状況、入札参加停止措置等の状況、談合情報等の処理状況について事務局、担当課から内容の説明を求めた上で審議を行った。
 また、大阪府が契約締結した建設工事（予定価格250万円を超えるもの）、測量・建設コンサルタント等業務（予定価格100万円を超えるもの）、委託役務業務（予定価格100万円（物件の借入れについては、80万円）を超えるもの）、物品購入（予定価格160万円を超えるもの）総契約件数653件の中から次の6件を委員が抽出し、事案ごとに担当の発注部局から入札・契約の過程及び内容の説明を求めた上で審議を行った。
- 6 審議の結果 これらの処理状況・事案は概ね適正であると認める。
- 7 委員からの質問とそれに対する回答 別紙のとおり

（抽出事案一覧）

入札方式		案 件 名	契約金額(円)
建設工事	一般競争	大阪府立夕陽丘高等職業技術専門学校内部改修工事（職業技術専門学校）	77,433,840
	一般競争	大阪府立こんごう福祉センター旧女子ブロックセンター他撤去工事	35,335,440
	一般競争	日本万国博覧会記念公園 ポンプ設備改修工事	14,191,200
委託役務	総合評価 一般競争	税務窓口等業務	1,404,000,000
	総合評価 一般競争	大阪府住吉警察署他放置車両確認事務等業務	281,554,108
物品購入	一般競争	（事・入-11）口紅式のりの単価契約	2,507,760

質 問	回 答
<p>【大阪府立夕陽丘高等職業技術専門校内部改修工事（職業技術専門校）】</p> <p>本件と同時に発注する案件に参加できない制限を設定した理由はどのようなものか。</p> <p>他に「今年度中に受注実績がないこと」という制限を設定した理由はどのようなものか。</p> <p>今後に向けて改善点はあるか。</p>	<p>過去の案件で安易に応札した業者があったことから、設計図書を詳細に確認し、適切な積算のうえに応札されることを期待して、原則として同時に発注する案件に重複参加できない制限を設定したもの。</p> <p>当部局の年間発注件数が少ないこともあり、府内の中小企業育成の観点から年間1件の受注制限を設定したもの。</p> <p>今後は、同時に発注する複数案件について重複参加を可能とし、原則として「取り抜け方式」※を採用するとともに、そもそも案件が重複しないよう、またその数が少なくなるよう発注時期を調整する。また、より競争性を高めるため、その他の参加制限のあり方についても引き続き検討していきたい。</p> <p>※「取り抜け方式」：中小企業者の過大受注による案件の品質低下防止等を目的として、同一日又は同一時期に入札公告する複数の案件の入札において、落札者を決定する案件の順位を予め決めておき、落札決定順位が上位の案件で落札者となった者の他の案件における入札書を無効とみなすことにより、落札者を決定する入札方式をいう。</p>
<p>【大阪府立こんごう福祉センター旧女子ブロックセンター他撤去工事】</p> <p>失格者が多かったのはなぜか。</p> <p>建物を解体して更地にする本件のような撤去工事に、最低制限価格の設定は必要なのか。</p> <p>今後に向けて改善点はあるか。</p>	<p>本件は一般的な施設に比して機械設備の撤去割合が大きいにもかかわらず、多くの入札参加者は数量を積み上げるのではなく一定率を計上して積算するなど、積算方法の乖離により失格者が多くなったものと考えている。</p> <p>過度に安価な入札では、業者が安全対策費を削減するなど粗雑な工事となり、周辺住民に影響を与えるおそれがあるため、撤去工事であっても一定の金額基準は必要と考えている。</p> <p>本件のような機械設備の撤去が多い特殊な案件については、配管の状況等を写真で示すなど、より分かりやすい図面作成を行い、適切な積算が可能となるよう努めていきたい。</p>

<p>【日本万国博覧会記念公園 ポンプ設備改修工事】</p> <p>落札率が高かったのはなぜか。</p> <p>施工期間が限られることを想定すると入札金額が高くなる理由はどのようなものか。</p> <p>今後に向けて改善点はあるか。</p>	<p>本件はポンプ設備の更新と分解整備を行う改修工事であり、既設部分との整合性を図る必要があるため、新設工事に比して施工上の作業効率が悪い。さらに、業者が園内のイベント開催日等は施工期間が限られることを想定して応札したことから、結果として落札率が高くなったものと考えている。</p> <p>休止期間中を考慮した資機材リース料の計上や、工事進捗を図るための下請業者の追加など、必要経費を割高に設定したことから、入札金額が高くなったものと考えている。</p> <p>イベントの開催日等、あらかじめ把握している範囲の事項を仕様書等に記載するなど施工条件を明確にし、適切な積算が可能となるよう努めていきたい。</p>
<p>【税務窓口等業務】</p> <p>本件は市場化テストを契機として民間委託を始めており、同じ業者の受注が継続しているが、当該受注者のみが業務に習熟しているのか。</p> <p>応札可能業者にとって、業務遂行の面など、新規参入のハードルが高くなっていないか。</p> <p>今後に向けて改善点はあるか。</p>	<p>一般的な人材派遣会社でも十分対応できると考えるが、税務窓口を全面的に委託しているのが本府と他1県のみであるため、履行実績を持つ業者が全国的に少ないという側面はある。</p> <p>市場化テストにおいて、民間のノウハウと創意工夫を最大限に活かすことにより、サービスの質が向上すると判断している。また、3年間の長期継続契約を行う際に、前受注者との引継期間も設定しており、効率的に業務移管できるよう配慮している。</p> <p>府税事務所を地域割や、業務内容を分割するなど、コスト増とならないよう仕様内容の検討を行うとともに、受注者が固定化しないよう、人材派遣会社への働きかけに努めていきたい。</p>
<p>【大阪府住吉警察署他放置車両確認事務等業務】</p> <p>応札者が少なく、同時に発注した他の案件も全て本件受注者が落札しているのはなぜか。</p> <p>小規模な業者でも参入できるよ</p>	<p>他の応札可能業者は、自社の駐車監視員の確保状況や総合評価落札方式の評価基準等を鑑みて参加を判断している一方、本件受注者は全ての案件を履行できる体制を整備していることが要因と考えている。</p> <p>毎回発注する際にブロック割を見直しているが、駐車実態の</p>

<p>う、ブロック割を細分化する等の対応はできないのか。</p> <p>今後に向けて改善点はあるか。</p>	<p>改善状況に伴うブロック内での駐車監視員の相互運用を前提としているため、あまり細分化しすぎると効率的に運用できないおそれがあると考えている。</p> <p>ブロック割や仕様書の内容、総合評価落札方式の評価基準等の見直しを検討し、参加者が増加するよう努めていきたい。</p>
<p>【(事・入-11) 口紅式のみの単価契約】</p> <p>応札者が少なかったのはなぜか。</p> <p>参加者を多く確保するため、同種の事務用品をまとめて発注することはできないのか。</p> <p>今後に向けて改善点はあるか。</p>	<p>本府の事務用品の調達は、市場価格に比して非常に安価であり、競争可能な金額で用品を仕入れることができた業者のみ参加していることが要因と考えている。</p> <p>契約局で発注する173品目の事務用品のうち、ペンの色違い等はまとめているが、業者によって調達用品の得手不得手があり、まとめ過ぎると結果的にコスト増となるおそれがあるため、慎重に見極める必要があると考えている。</p> <p>現在、用品全体の発注方法について検討を行っており、次年度は配送料の圧縮によるスケールメリットが期待できる出先機関への直送用品を試行的にまとめて発注し、その状況を検証していきたい。</p>